

公共施設適正配置に向けた市民意識調査集計結果

1 市民意識調査について

(1) 目的

公共施設の更新問題への取り組みを、市民に周知し理解を図るとともに、今後の適正配置の方向性である総量削減などに対する市民の考え方を確認し検討資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象者

市内在住の18歳以上で、無作為抽出した2,000人。

(3) 調査方法

調査票を郵送配布、郵送回収により実施した。(平成26年2月実施)

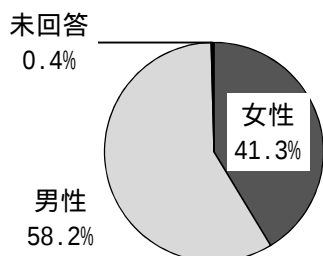
(4) 調査結果

有効回収率 24.6%(2,000人中491人回答)

2 アンケート結果

(1) 性別は?

「男性」の割合が58.2%、「女性」の割合が41.3%となっています。

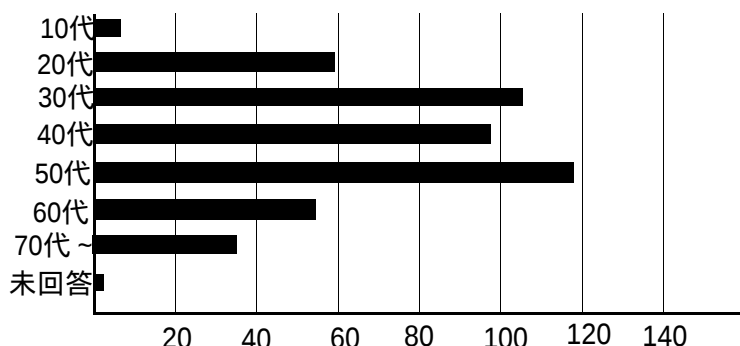


性別	女性	男性	未回答
人数	203	286	2
	41.3%	58.2%	0.4%

N = 491

(2) 年齢は?

「50代」の割合が24.0%と最も多く、次いで「30代」の割合が22.6%、「40代」の割合が19.3%となっています。



10代	20代	30代	40代	50代
15	59	111	95	118
3.1%	12.0%	22.6%	19.3%	24.0%
60代	70代~	未回答		
56	35	2		
11.4%	7.1%	0.4%		

N = 491

(3) お住まいの地区は?

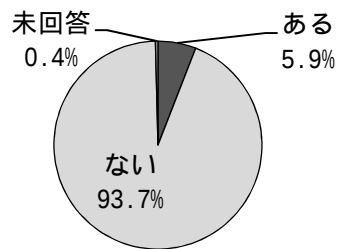
「大上地区」の割合が11.6%と最も高くなっています。

蓼川	大上	寺尾北	寺尾中	寺尾台	寺尾本町	寺尾西	寺尾南	寺尾釜田	小園	小園南
20	57	27	14	13	13	10	6	20	24	4
4.1%	11.6%	5.5%	2.9%	2.6%	2.6%	2.0%	1.2%	4.1%	4.9%	0.8%
早川	早川城山	綾西	吉岡	吉岡東	深谷	深谷上	深谷中	深谷南	本蓼川	落合北
21	26	20	19	7	14	21	19	15	0	13
4.3%	5.3%	4.1%	3.9%	1.4%	2.9%	4.3%	3.9%	3.1%	0.0%	2.6%
落合南	上土棚北	上土棚中	上土棚南	未回答						
27	14	32	33	2						
5.5%	2.9%	6.5%	6.7%	0.4%						

N = 491

(4) 綾瀬市公共施設調査報告書を見たことがありますか？

「見たことがない」の割合が93.7%、「見たことがある」の割合が5.9%となっています。

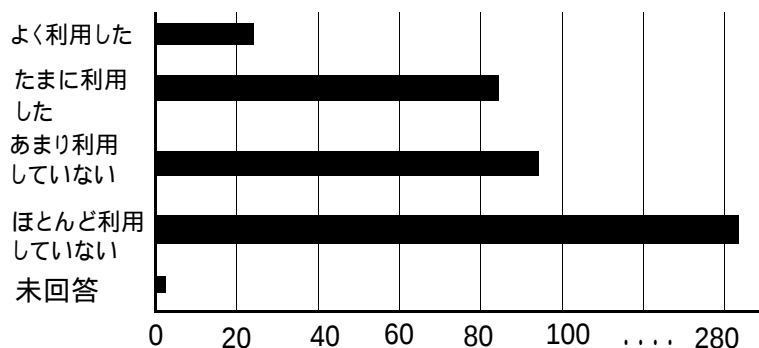


ある	ない	未回答
29	460	2
5.9%	93.7%	0.4%

N = 491

(5) 過去1年間に公共施設をどのくらいの頻度で利用されましたか。

「ほとんど利用していない」の割合が58.0%と最も高く、次いで「あまり利用していない」の割合が19.1%、「たまに利用した」の割合が17.3%となっています。

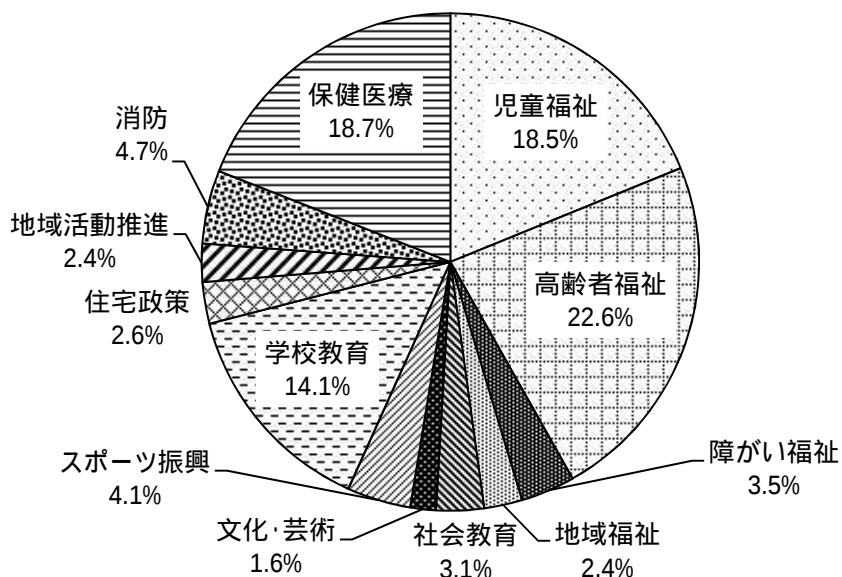


よく利用した (週3回以上)	たまに利用した (週1回以上)	あまり利用していない (月1回程度)	ほとんど利用していない (年数回)	未回答
24	85	94	285	3
4.9%	17.3%	19.1%	58.0%	0.6%

N = 491

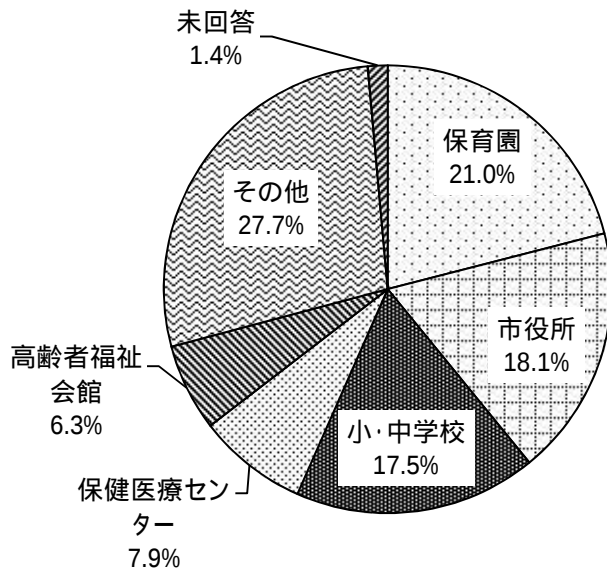
(6) 今後、どの分野の施策を充実・推進していくべきだとお考えですか。

「高齢者福祉」の割合が22.6%と最も高く、次いで「保健医療」の割合が18.7%、「児童福祉」の割合が18.5%となっています。



(7) 今後、どの公共施設を維持していくべきとお考えですか。

「保育園」の割合が21.0%と最も高く、次いで「市役所」の割合が18.1%、「小・中学校」の割合が17.5%となっています。

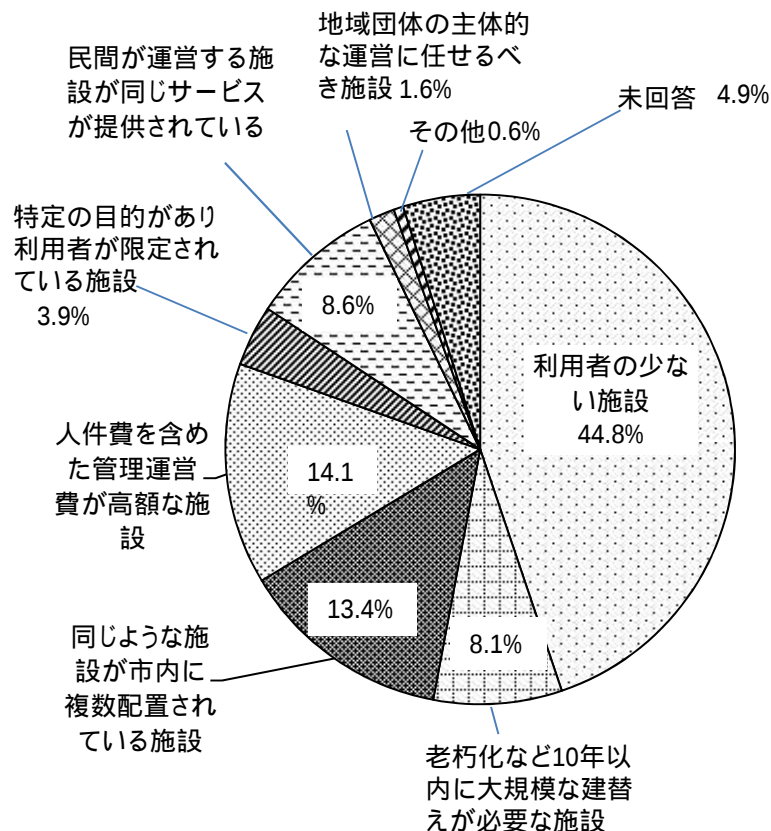


その他の内訳

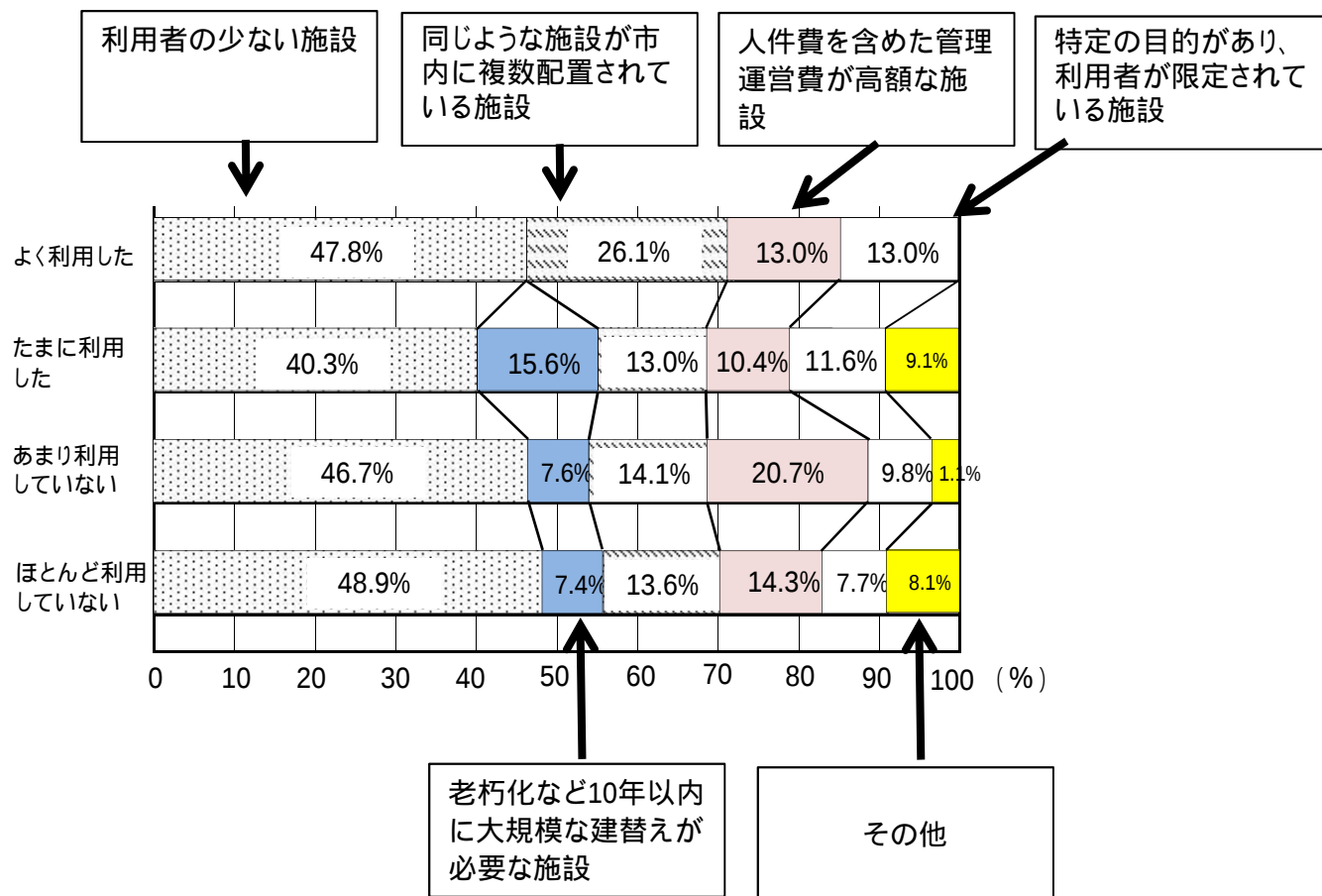
- ・消防庁舎 (6.1%)
- ・図書館 (3.7%)
- ・スポーツセンター (3.5%)
- ・リサイクルプラザ (2.0%)
- ・高齢者憩の家 (1.6%)
- ・地区センター (1.4%)
- ・障害者自立支援センター (1.4%)
- ・市営住宅 (1.2%)
- ・コミュニティセンター (1.0%)
- ・文化会館 (1.0%)
- ・もみの木園 (1.0%)
- ・福祉会館 (1.0%)
- ・学校給食センター (0.8%)
- ・自治会館 (0.8%)
- ・児童館 (0.4%)
- ・ふれあいの家 (0.2%)
- ・適応指導教室 (0.2%)
- ・地区会館 (0.2%)
- ・中央公民館 (0%)
- ・文化財収蔵庫 (0%)

(8) どのような施設から統合・廃止するべきとお考えですか。

「利用者の少ない施設」の割合が44.8%と最も高く、次いで「人件費を含めた管理運営費が高額な施設」の割合が14.1%、「同じような施設が市内に複数配置されている施設」の割合が13.4%となっています。



(9) 公共施設の利用頻度別による統合・廃止されるべき施設の考え方について
「利用者の少ない施設」の割合が4区分で共通して最も高くなっています。

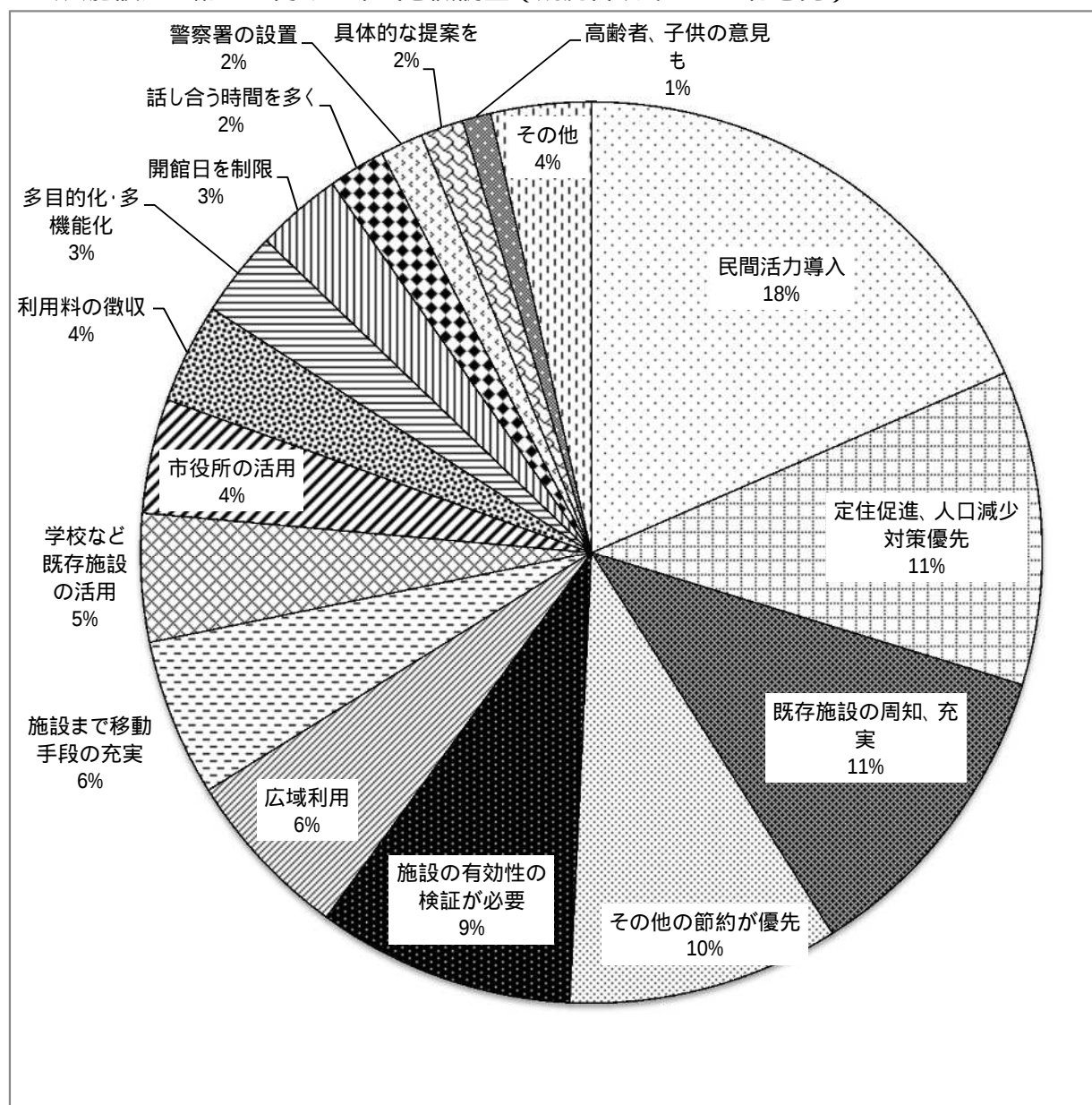


3 統廃合以外の手法、その他の意見・提案について

意見・提案を類似した項目ごとに分類したところ、「民間活力導入」の割合が18%と最も高く、次いで「定住促進、人口減少対策優先」、「既存施設の周知、充実」、「その他の節約」の割合が高くなっています。

- 民間活力の導入
 - ・ 指定管理者制度を活用していくべき。
 - ・ 武雄市の図書館とTUTAYAの連携のように、魅力的な施設を導入したらどうか。
 - ・ 民間やボランティアに任せて人件費を減らし施設の維持・管理費に市が補助をする。
- 定住促進、人口減少対策優先
 - ・ 電車が通っていないため不便。若い世代が住みたいと思う施設がない。
 - ・ 若い世代を呼び込むための対策が将来的に強い力となる。
 - ・ 住居選択の際に、海老名と綾瀬だと海老名を選ぶ人が多い。
- 既存施設の周知、充実
 - ・ 積極的に宣伝することで、市民も必要・必要でないがはっきりしてくると思う。
 - ・ 施設のPRを行い活用を促進し、利用料を徴収することで、多少の補填はできるのでは。
 - ・ 利用率向上のためのPRをする。
- その他の節約が優先
 - ・ まず、経費を分析し経費削減に努める。そして、なんらかの指標に基づいて総合評価していき、そのなかで統廃合を検討すべき。
 - ・ 施設の更新費用等の議論の前に、無駄な費用についての議論が必要。市庁舎の規模は不要で、駅等のインフラは必要。
- 施設の有効性の検証が必要
 - ・ 統廃合の前に、対象施設を有効活用していたかを検証する。
 - ・ 受益者負担制度を導入し、著しく利用率が減少する施設は廃止する。
- 広域利用
 - ・ 近隣市の施設を利用可能にし、そこに行くための交通手段を確保。
 - ・ 近隣市の施設を利用できるようにすればよいのではないか。
 - ・ 他市との合併。
- 上記以外の項目
 - ・ 1回50円を徴収する。50円でも払いたくないと思う施設は廃止する。
 - ・ 地区センターに機能を集約してはどうか。
 - ・ 市役所周辺に施設を集中させて、コミュニティバスを活性化して老人対応。
 - ・ 施設の減少を行う一方で、それをカバーするコミュニティバス等を充実させる。
 - ・ 市役所で空いている部屋を民間に貸し出す。

公共施設適正配置に向けた市民意識調査（統廃合以外のその他意見）



内 容	件数	構成比	内 容	件数	構成比
民間活力導入	36	18%	利用料の徴収	7	4%
定住促進、人口減少対策優先	22	11%	多目的化・多機能化	6	3%
既存施設の周知、充実	22	11%	開館日を制限	6	3%
その他の節約が優先	19	10%	話し合う時間を多く	4	2%
施設の有効性の検証が必要	18	9%	警察署の設置	3	2%
広域利用	12	6%	具体的な提案を	3	2%
施設まで移動手段の充実	11	6%	高齢者、子供の意見も	2	1%
学校など既存施設の活用	9	5%	その他	7	4%
市役所の活用	8	4%	計	195	100%

491件中、その他意見は195件の約4割が回答